

《基本理念》

患者の権利を尊重し、救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として地域住民に信頼される高度で安全な医療を行います。

《基本方針》

- 救命救急センターを併設して24時間、365日の救急医療の提供を行います。
- 高度な専門医療の提供を行い、地域住民の生命と健康を守ります。
- 常に安全・安心の医療を行います。
- 患者の権利を尊重し、常に患者第一の医療提供を行います。
- 医療連携を推進し、地域の患者により良い医療を提供します。
- 地域の中核病院として、地域医療機関と密接な連携を図ります。
- 医療従事者の教育・研修に努め、継続的に地域における医療の質の向上を図ります。
- 千葉大学医学部・同附属病院と密接に連携して診療を行います。
- 健全経営に努めるとともに、生き生きとした職場づくりに努めます。
- 地域の保健・医療に貢献するため、地域中核病院としての役割を担います。



病院の近くでも桃や梅が花をつけ、春の訪れを感じます。

御挨拶



理事長・センター長
増田 政久

寒さ厳しき折、センターNEWSを手にとって頂いている皆様方はいかがお過ごしでしょうか。早いもので私も東千葉メディカルセンターに赴任して11か月が過ぎ、徐々にセンターを取り巻く状況が見えてきたところで、あらためて表紙に掲げてある基本理念に沿って病院を充実させていこうと考えています。

昨年は8月の皮膚科外来開設、10月からの脳神経外科、循環器内科のstaff招聘がかない頼もしい仲間が増えました。病院をご利用いただく方々も増えて参りましたが、残念ながらすべての方々のご要望にお応えするには至っていません。国が掲げている地域医療構想の中でこの地域ならびに周辺地域の今後を見据えつつ、人材をはじめとする限られた医療資源をいかに有効に生かすか、連携・分担をkey wordに東金市・九十九里町はもとより県および周辺地域の行政の方々、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会等々と密接なかかわりをもちながら、皆様方の生命と健康を守る一翼を担っていこうと思います。今年開院5年目を迎える東千葉メディカルセンターをこれからもよろしくお願いたします。



● 医師紹介	2	● インフォメーション	5
● コラム「DPC制度について」	3	皮膚・排泄ケア認定看護師資格を取得 イベント報告など	
● インフォメーション	4	● 診療トピックス「C型肝炎の最新治療法」	6
「糖尿病教室」の開催について 「市民公開講座」のお知らせ 3月14日…肺炎について／4月18日…口の中の病気について		● 外来診療表	7

《脳神経外科》

丹野 裕和



平成29年10月より赴任しました。長い間国立千葉医療センター脳神経外科医長、救急部長として千葉市の救急に携わった経験を生かして今後は東金・山武・長生などの地域医療に貢献できるよう、若い人に負けず尽力したいと思います。

《脳神経外科》

町田 利生

2017年10月1日付で千葉県循環器病センターより異動、赴任となりました。前任地では12年間神経救急を中心に診療を行ってまいりました。当センターは診療科が多く、より濃厚な診療が行えることと期待しています。よろしくご挨拶申し上げます。

《脳神経外科》

中野 茂樹



2017年10月に当センターに異動となりました。神経系救急医療体制の確立に尽力して参ります。宜しくお願い致します。

《循環器内科》

上田 希彦



私は不整脈治療のエキスパートです。カテーテルアブレーションについては17年以上のキャリアがあり、日本有数の施行数である群馬県立心臓血管センター医長、千葉大病院 診療講師を経て当センターへ赴任致しました。

整形外科病棟での薬剤師業務について

こんにちは。東千葉メディカルセンター薬剤師の山本正子と申します。当院で働き始めて3年目になります。

私は今、整形外科病棟担当の1人として薬剤師業務を行っています。今回はこの場をお借りして、整形外科病棟での薬剤師業務について説明しようと思います。

整形外科病棟には、膝や股関節、腰や首、アキレス腱、手等様々な部位の治療、手術を受けられる患者さんが多く入院されます。中には、交通事故、転倒による骨折といった、思いがけず入院になる方もいらっしゃいます。当院整形外科は評判が良く、医師の評判を耳にして当院を受診される患者さんも多くいらっしゃいます。皆さん、治療や手術を受けることで今まで付き合ってきた痛みや痺れが取れ、生活の質が向上することを期待して受診されます。患者さんの中には、整形外科以外の疾患を併発している方が多くおられます。そこで、私たち薬剤師は患者さんが入院された日にお会いし、今まで使用しているお薬を確認し、整形での治療や手術に影響を与えることがないか確認します。また、手術の当日の内服薬、注射薬、手術後の疼痛対策や術後の突発的な痛みや吐き気の対策などを事前にお伝えし、安心して手術に臨んで頂けるようにしています。

手術後には痛みの程度を確認を行い、手術部位や痛みの程度、全身状態等を総合的に考慮して医師と鎮痛薬の検討を行います。その後も定期的に患者さんにお会いし、痛みや感染症の有無、全身状態を確認し、必要に応じて医師に薬物治療の提案を行っています。そして、患者さんがお薬を使用して良くない効果(副作用)が起きていないか、採血結果や自覚症状等を定期的にチェックし確認することも薬剤師の重要な仕事です。また、看護師からの薬に関する質問にも随



整形外科 薬剤師
山本 正子

時対応することで患者さんに適切な治療が行えるようにサポートも行っていきます。患者さんの状態をスタッフ間で共有することも欠かせません。その一環として、毎週、医師、看護師、理学療法士、診療放射線技師、ソーシャルワーカーとカンファレンスを行っています。皆で情報を共有することで患者さんの全体的な状況をそれぞれの立場から把握し、治療に活かしています。

実は、手術における薬剤師の関わりは入院中だけではありません。患者さんが手術を受けられることが決まった場合、外来に出向いて事前で使用している薬の内容の確認を行っています。いわゆる血液サラサラの薬を使用している場合、手術の前に一時飲むのを止めなければなりません(休薬と言います)。休薬の必要な薬がないか確認し、使用していた場合には、医師へ報告し、いつから休薬するかを提案し、患者さんにお伝えすることも重要な仕事のひとつです。

書ききれない業務が多々ありますが、患者さんに安心して入院生活を送って頂けるように薬剤師として、薬物療法の面からできる限りのサポートを行っていただけるよう日々努めたいと思います。

第2回

「DPC制度」について

〈理事長・センター長 増田 政久〉

今回は、「DPC制度」についてお話しします。

医療関係者でもない限り、ほとんどの方が聞いたことのない言葉だと思いますが、DPCとは、平成15年に閣議決定に基づき導入された国が推奨する新しい診療報酬制度です。

診療報酬はこれまで、検査や処置などにそれぞれ決められている点数を積み上げる、いわゆる「出来高方式」でしたが、急性期入院医療においては、新しい「包括評価制度（DPC制度）」が誕生しました。DPCでは、入院中に治療した傷病の中で最も医療資源を投入したひとつの疾患に対して1日あたりの定額点数が定められています。この定額点数は厚生労働省が定めたもので、500の疾患を基本に、手術・処置・副傷病の有無などでさらに2000以上に分類されます。このように、診療点数を疾患ごとに分類し、包括して診療報酬を決めていく方法がDPCという方式です。

では、この制度はどのように考案されたのでしょうか。その最も大きな理由は「医療費の削減」です。従来の出来高方式では、どうしても医療費が膨れ上がってしまいます。それを抑えるためには、DPCのように包括的な点数評価が有効です。DPCが導入された病院では、治療を行う場合、同じ疾患であればより低い点数に収まる治療を選択

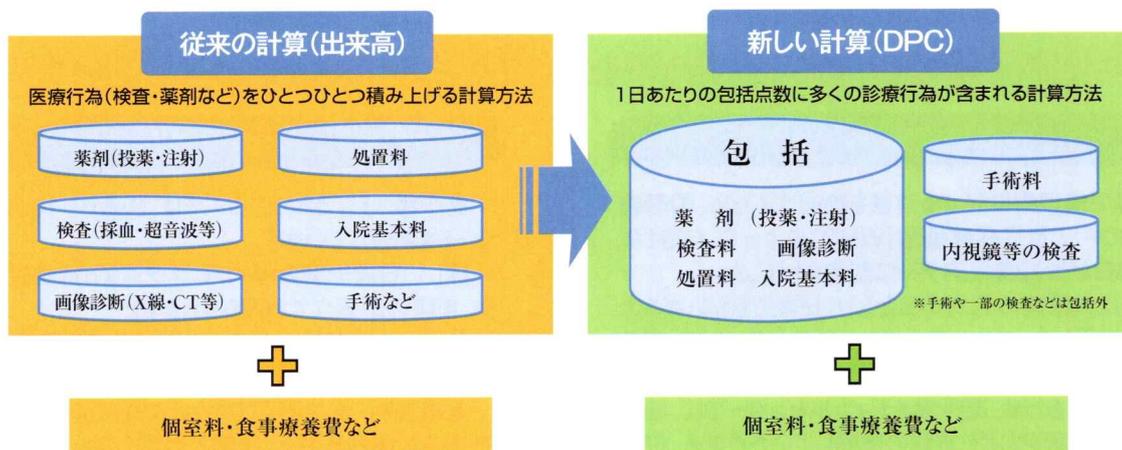
した方が収益性が高くなります。そして行政にとっては医療費が抑えられ、患者さんにとってもより低侵襲な治療になるというメリットが生まれます。また、一連の医療行為が包括されるので、医療の標準化や質の向上（どこの病院であっても同じ疾患であれば同じ治療を受けることができること）が図られることも目的としています。

当センターも平成30年4月よりDPC対象病院となります。DPC対象病院になることで、入院費の計算方法は下図のように変更になります。

DPCでは、病名や治療内容・入院日数によって医療費が変わりますので、同じ病名で入院されていても、従来の出来高方式で計算された医療費とは単純に比較できない場合があります。DPC診断群分類によって、従来の出来高より医療費が安くなる場合も高くなる場合もあります。

この制度は、単なる支払い方式の変更としてではなく、良質で効率的・効果的な医療の提供及び医療の透明化を図るために導入された制度であり、平成29年4月時点では、全国で1664病院が対象病院となっています。

当センターが末永く皆様のお役に立つために、安心・安全で信頼される医療の提供が出来るよう努力し、改善に努めていきますので、皆様のご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。



募集!

**看護職員
助産師**

段階的に病棟をオープンするため、新卒、既卒、管理職経験者など、一緒に働いてくれる幅広い人材の看護職員を求めています。また、周産期ケアの充実に向けて助産師を募集しています。

※病院の見学会や看護の仕事から離れている方などを対象とした復職支援研修を随時行っています。ぜひご連絡ください。

こちらのQRコードを読み込むと看護部のホームページをご覧いただけます。

《問い合わせ》東千葉メディカルセンター 看護師確保対策室 電話0475-50-1199(代)



糖尿病教室

毎月1回定期的に開催している糖尿病教室は、毎回多くの皆様にご参加頂いています。

今年度の糖尿病教室は、院内の糖尿病に関係するスタッフが集まり、毎月それぞれの部署ならではのテーマに基づいて糖尿病治療に関する情報を皆様にお伝えします。

3ヶ月に1回の頻度で「糖尿病の基本的なお話し」の回を開催しておりますので、年度途中からの参加もしやすくなっています。

また、教室終了後にスポーツクラブのインストラクターによる運動教室を年4回程度開催いたします。(任意参加)

参加費無料・予約無しでどなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。



時間:14:00~

会場:東千葉メディカルセンター
2階講堂

市民公開講座

当センターの医師による一般の方向けの講座を開催します。

日々の生活にもお役に立つ情報で、どなたでもご参加いただけます。お気軽にご参加ください。



- と き 平成30年3月14日(水) 午後2時~
※1時間程度
- ところ 東千葉メディカルセンター2階 講堂
- 講師 呼吸器内科 医長 江間 亮吾
- 講演名 「肺炎について」

- ▶参加費 無料
- ▶申込み 事前に電話予約での受付可 ※当日受付有
- ▶申込み先 東千葉メディカルセンター 総務課 電話0475-50-1199(代表)



- と き 平成30年 4月18日(水) 午後3時~
※1時間程度
- ところ 東千葉メディカルセンター2階 講堂
- 講師 歯科口腔外科 医長 伏見 一章
- 講演名 「口の中の病気について」

世界糖尿病デー

世界規模で糖尿病に対する注意を喚起するため、国際糖尿病連合 (IDF)と世界保健機関 (WHO)によって、1991年から11月14日が世界糖尿病デーに制定されました。

2006年には国連の公式の日となり、日本でもシンボルカラーの青を使用した、ブルーサークルとブルーライトアップの活動が全国的に行われています。

このイベントにあわせ、東千葉メディカルセンターでは、糖尿病相談・血糖値測定などを気軽に体験していただける、相談会を開催しました。



世界糖尿病デーにあわせ、病院ピロティが糖尿病デーのシンボルカラーである青にライトアップされました。今年短時間でしたが、来年以降は糖尿病週間にあわせ、1週間程度の開催を予定しています。

ロビーコンサートを開催しています

東千葉メディカルセンターでは、3・6・9・12月にロビーコンサートを開催しています。

詳しい日程や出演者・プログラムなどは病院内の広報棚や、市町の広報にてお知らせします。

毎回1時間程度の内容で、楽器演奏と合唱の2本立てとなっています。

入場無料・予約不要でどなたでも鑑賞していただけますので、お誘いあわせの上、是非ご来場ください。



皮膚・排泄ケア認定看護師資格を取得しました

2017年7月に皮膚・排泄ケア認定看護師資格を取得いたしました鈴木と申します。認定看護師制度は、特定の看護の分野において、熟練した看護技術と知識を用いて認定看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上を目的としています。当センターでも、救急看護認定看護師2名、感染管理認定看護師1名が在籍しており、私は4人目となります。

私の分野は、創傷(Wound)、ストーマ(Ostomy)、失禁(Continenence)を担当します。以前はこの三項目の頭文字をとって「WOCナース」と呼ばれていましたが、現在は皮膚・排泄ケア認定看護師が正式名称となっています。

今年4月より褥瘡管理者として、褥瘡予防や患者様の把握、毎週1回形成外科医師と褥瘡回診、褥瘡だけでなく院内で発生した創傷や失禁関連皮膚障害(いわゆるおむつかぶれ)、ストーマケアなど、センター内で皮膚トラブル発生予防やスタッフからの処置方法の相談を受けています。

私が皮膚排泄ケア・認定看護師を志したきっかけは、開院当初のストーマケアでした。様々な経験を持つ看護師が集合して始まった病院でしたので、ストーマケアの方法がと



看護部
鈴木 博子

ころころスタッフにより差があり患者さんが困惑している様子が度々みられました。患者様の退院後の生活に支障をきたすことがないようにするには、スタッフが同じケアを患者様に提供することが重要で、そのためには統一させるだけの知識と技術が必要と感じ、認定看護師教育課程の受験を決めました。資格を取得したからといって「熟練」したとはいい難しく、スタッフと共に様々な患者様と関わりながら勉強をさせていただいています。

外来ではストーマ外来を開設いたしました。今後はセンター内だけでなく、地域に即した活動も行っていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

《ご寄附へのお礼》

当センターの開業以来、多くの地域住民の皆様、患者様方に病院活動へのご理解を頂き、温かいご支援・ご寄附を賜りました。お寄せ頂いた寄附金については、申し出の際に皆様からお聞かせいただいた寄附目的を基に使用しています。ご支援・ご寄附をお寄せくださいました皆様に厚く御礼申し上げます。

- 糖尿病予防対策講座開催の支援
- 糖尿病予防対策講座開催の支援
- 医療従事者育成
- 看護部職員をはじめとした病院職員の教育、研究若しくは福利厚生などへ充当する資金の一部として
- 入院中にお世話になった主治医をはじめとする関係者への謝意を表し一層の発展の一助とするため
- 当院東側侵入道路緑地の緑化等の資金の一部として

思春期教室を開催しました

東中学校などの近隣中学校で思春期教室を行いました。当センターの助産師が思春期の心と体の成長にともなう変化や、妊娠のしくみを手作りの教材やスライドを用いて説明しました。

途中にはお腹の赤ちゃんの重さを体験できる妊婦さんのお腹を模したジャケットを着用して靴下を履いてみたり、寝転がってみるコーナーもあり、実際に体験した生徒からは「お腹が大きくなると、小さな動きをするにもこんなに不自由を感じるなんて驚いた」等の声が聞かれ、有意義な講義になったようでした。



赤ちゃんを模した人形を使い説明を行なう渡邊助産師(写真左)

産業祭への参加

11月に行われた東金市産業祭と九十九里町産業まつりに参加しました。

東金市では食品に含まれている糖分について、九十九里町では塩分について、それぞれ管理栄養士より手製のポスター等を用いて解説を行ないました。

また、九十九里町では訓練用のAED(心室除細動器)を用いた心肺蘇生法の体験コーナーも設け、時には看護師が心肺蘇生の様子を実演。その様子を多くの方が足を止めてご覧になっていました。

最大で100名を超える幅広い世代の皆様にお越しいたごき、食事について相談をされた方からは「年末年始にかけての食事を十分に気を付けたいと思う」などの声が聞かれ、分かりやすく身近な注意点に気づける解説だと好評でした。



C 型肝炎の最新治療法

消化器内科 副部長 亀崎 秀宏

**C 型肝炎は早期発見が重要で、飲み薬で治す時代になりました。
当センターは、「肝疾患専門医療機関」に指定されており、
C 型肝炎に対する治療を積極的に行っています。**

C 型肝炎は、主に血液を介して感染するウイルス感染症になります。大昔に受けた手術・輸血が原因となり現在まで感染し続けていることもあります。明確な原因が特定できない患者さんもいらっしゃいます。

C 型肝炎ウイルス (HCV) に感染しても、その多くは無症状のために、感染の事実気付かずに経過していることも珍しくありません。肝臓は「沈黙の臓器」とも言われています。表 1 の①～④に該当する方や、その他ご心配のある方は、症状が無くとも一度は医療機関でご相談頂くのが望ましいかもしれません。簡単な血液検査で感染の有無がわかります。

感染から何十年も経過し、C 型肝炎で症状が出現した際には、すでに肝臓病が進行していることもあります。

2014 年 (平成 26 年) 9 月からは、飲み薬による C 型肝炎治療 (抗ウイルス治療) が普及しており、当センターでも 70 名あまりの患者さんが治療を受けていらっしゃいます (図 1)。患者さんの状態に合わせて 6 通りの薬剤を使い分け、3-4 カ月間内服して頂いております (2017 年 (平成 29 年) 10 月現在)。一部の患者さんは治療を受けて頂くことができませんが、現在も新たな薬剤が開発され続けております。

高価な薬剤にはなりますが、助成を受けることにより月額 1-2 万円で治療を受けることが可能となっております。まずはお気軽にご相談頂ければと存じます。

(表 1)

- ①1992年(平成4年)以前に輸血や手術を受けた方
- ②血液透析を長期間受けている方
- ③入れ墨をしている方
- ④ボディピアスをしている方

(図 1)

当センターで C 型肝炎治療中の患者数



外来診療表

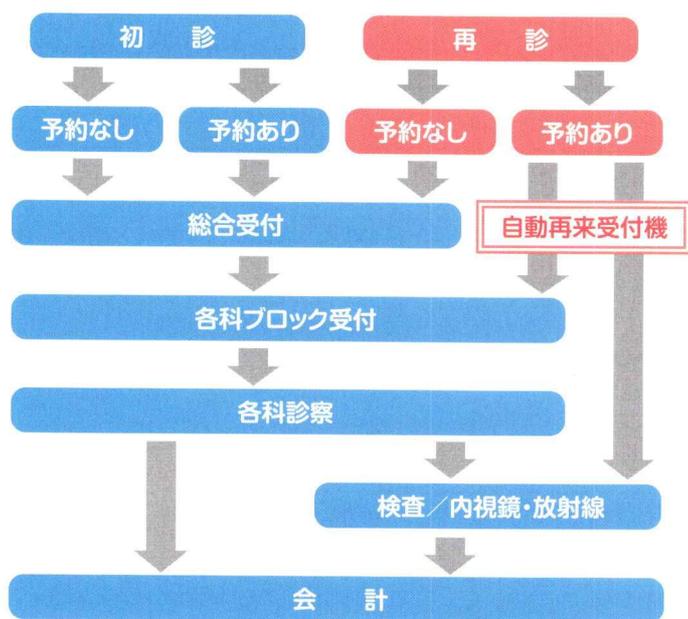
平成30年2月1日現在

《予約専用ダイヤル》 **0475-50-1333** (平日9:00~17:00受付)

診療科	受付時間	診療日				
		月	火	水	木	金
総合診療科	8:30~11:30	金井/森/内田	金井/森	森/小島	金井/森	金井/柳田
消化器内科	8:30~11:30	亀崎	妹尾/亀崎 (新患のみ)	坂本	亀崎/妹尾 (新患のみ)	泉水/坂本 (新患のみ)
	13:00~16:30	亀崎(予約のみ)			亀崎(再診のみ)	
神経内科 (予約必要)	8:30~11:30	内田	内田			内田
呼吸器内科	8:30~11:30	笠原/江間	西村	塚原/三輪	笠原/伊狩	江間/家里
循環器内科	8:30~11:30	若林(新患+予約) 佐野(予約のみ)	上田(新患+予約) 金枝・若林(予約のみ)	佐野(新患+予約) 佐藤(予約のみ)	金枝(新患+予約) 上田・石川(予約のみ)	石川(新患+予約)
	13:00~16:30	若林(予約のみ)	上田(予約のみ)	佐野(予約のみ) 佐藤(予約のみ)	金枝(予約のみ)	石川(予約のみ)
代謝 内分泌内科 (午後は予約のみ)	8:30~11:30	坂本	河村	河村	坂本	河村(第1・3・5週) 坂本(第2・4週)
	14:00~16:30	吉原		坂本		河村(第2・4週) 坂本(第3・5週)
小児科	8:30~11:30	井上 千葉大医師(非常勤)	内川/井上	内川/井上	内川 千葉大医師(非常勤)	内川/井上
	13:00~		予防接種 (予約のみ)	予防接種 (予約のみ)	乳児健診 (予約のみ)	予防接種 (予約のみ)
	14:00~16:30		内川(予約のみ)	井上(予約のみ)	【循環器外来】濱田 (第3週・予約のみ)	
外科	8:30~11:30	上田	中川	岡村	岡村	中川
(乳腺外科) (予約必要)	8:30~11:00					寺中 (乳腺外科)
心臓血管外科	8:30~11:30	石田	深澤		石田	
整形外科	8:30~11:30	青木/中嶋 山本	渡辺/高澤 葉	久保田/山本	渡辺/高澤 葉/松浦	青木/中嶋 久保田
脳神経外科	8:30~11:30	和田 (10:00~)	中野	丹野	町田	和田
	13:30~16:30		中野・非常勤医師 (予約のみ)	丹野 (予約のみ)		
形成外科 (予約必要)	8:30~11:30	長谷川 (予約)				
	14:00~16:00	長谷川 (新患)			長谷川 (新患・予約)	
皮膚科	10:00~14:00		非常勤医師 (受付13時まで)			非常勤医師 (受付13時まで)
産婦人科	8:30~11:30		種元/山内	山内/津田	種元/山内 津田(予約のみ)	種元/津田
歯科口腔外科	8:30~11:30	伏見/笠間	伏見/笠間 肥後	伏見/笠間	伏見/笠間 齋藤	伏見/笠間
	13:30~16:30	伏見/笠間	伏見/笠間 肥後	伏見/笠間	伏見/笠間	伏見/笠間

1. 休診日は、土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)です。
2. 循環器内科の新患外来は、緊急カテーテル治療等に対応するため、原則として紹介状をお持ちの方のみ受け付けます。
3. 休診日や受付時間は都合により変更となる場合があります。事前にお問い合わせください。

外来診療の流れ



再診で予約がある患者さんの場合

- ① 総合案内横にある自動再来受付機に診察券を入れます。
- ② 受付票が2枚印刷されます。
- ③ 受付票をクリアファイルに入れ、受付票のメッセージに従って診察または検査の受付へ移動してください。
※エラーの場合は総合受付へ案内されます。

予約のない患者さん

- ① 総合受付で受付を行います。
- ② 受付票の入ったクリアファイルを受け取り、案内に従って診察または検査の受付へ移動してください。

交通アクセス



—お知らせ— 面会時間 について

患者さんの治療と安静のため面会時間を設定しています

【一般病棟】 平日：15時～20時 土・日・祝日：11時～20時

【救命救急センター】 全日：15時～20時

※感染防止のため、マスクの着用・手指の消毒・短時間での面会をお願いする場合があります。



感染防止のため、お見舞いなどでの生花の持ち込みは、ご遠慮ください。